施策番号	1804		
施策名	新しい学習環境づくり		
概要	老朽化した学校施設の機能改善の際，環境やバリアフリーに配慮し，子どもが安心して快適に過ごせる学習環境を整備する。		
担当局・部室	教育委員会・総務部，教育環境整備室	共管局・部室	
上位政策	18　学校教育		
施策に関係する主な分野別計画等			

施策の評価

1　客観指標評価

	指標名	平成29年度	平成30年度	令和元年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト
1	大規模整備事業実施校数(件)	a	a	45	55	40	137.5%	a	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

2　市民生活実感評価　*この評価は，毎年５月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

	設問	平成29年度	平成30年度	令和元年度回答						
				そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	有効回答者数	評価
1	安全快適な学校施設や最新の設備など，充実した教育環境が整っている。	b	b	63 10.5%	270 45.2%	192 32.1%	50 8.4%	23 3.8%	598	b
2	-	-	-							-
3	-	-	-							-
4	-	-	-							-
5	-	-	-							-
		b	b	市民生活実感調査総合評価						b

3 総合評価（客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価）

A	施策の目的が十分に達成されている						
	重み付け	☑ 客観指標	a	☐ 市民の実感	b	平成30年度	A

（重み付けの理由）
市立学校施設整備という対象が限られた施策であり，市民の生活実感に施策の効果がすぐには反映されにくい性質があるため客観指標を重視する。

（原因分析）客観指標総合評価
☑ ｂ評価以上であり，施策の効果が客観指標に表れている。
☐ ｃ評価以下であり，次の原因が考えられる。

（原因分析）市民生活実感調査総合評価
☑ ｂ評価以上であり，施策の効果が市民の実感に表れている。
☐ ｃ評価以下であり，次の原因が考えられる。

平成29年度	A

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞

	事業名	事業費の状況（千円） 平成30年度決算額	事業費の状況（千円） 令和元年度予算額	令和元年度事務事業評価結果における目標達成度評価	担当局
1	私立幼稚園等助成	472,249	488,954	かなり良い	子ども若者はぐくみ局
2	私立学校等助成	65,619	67,230	良い	教育委員会
3	学校コンピュータ環境整備	772,780	968,119	良い	教育委員会
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

＊予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

・学校施設マネジメント基本計画・行動計画に基づき，学校施設の長寿命化改修や予防保全等の取組を効果的・効率的に推進するとともに，省エネルギー化やバリアフリーという観点を踏まえながら，子どもたちが利用しやすく，快適に過ごすことのできる学習環境の整備を引き続き進める。
・災害時には地域の防災拠点として機能できるよう，防災機能の強化，耐震性能の向上の観点から学校施設の整備を行う。

施策名	1804	新しい学習環境づくり

指標名	大規模整備事業実施校数（件）

担当課	教育環境整備室	連絡先	２２２－３７９６

１　指標の説明

新たな学習環境づくりのために，老朽化した学校施設の機能改善の際，環境に配慮した改修を行うとともに，災害時を想定した避難所施設としての機能向上，耐震性能の向上の観点から整備を行った件数

２　指標の意味

学びの場であり地域の拠点である学校を環境に配慮しながら改修し，防災拠点としての機能を付け加える指標

３　算出方法・出典等

算出方法：改修実績数を計上
出典：事業担当課調べ

４　数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	平成29年度	平成30年度		数値	根拠	達成度
数値	45	55	10件増	40	中長期目標値(令和2年度)を段階的に達成していくために，当年度に達成すべき数値	137.5%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値		50	令和2年度	110.0%	京プラン実施計画　第2ステージ

備考	

５　評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a:80%以上～（平成30年度32件以上）
b:60%以上～80%未満
（平成30年度24件以上32件未満）
c:40%以上～60%未満
（平成30年度16件以上24件未満）
d:20%以上～40%未満
（平成30年度8件以上16件未満）
e:20%未満（平成30年度8件未満）

６　基準説明

目標値を年度毎に設定した上で（累計）
平成27年度目標値10件
平成28年度目標値20件
平成29年度目標値30件
平成30年度目標値40件
令和元年度目標値45件
令和２年度目標値50件
80%以上をａとし，以下20%刻みで基準を設定した。

７　評価結果

平成29	平成30	令和元
a	a	a